NPO法人日本風景街道コミュニティ
研究発表セミナー
サイクルツーリズムセミナー

日本風景街道「浜名湖サイクルロード」の取り組み

ーサイクルツーリズムによる地域振興・観光振興ー

「浜名湖サイクルロード」パートナーシップ座長　田中孝治

浜名湖サイクリング風景

1．はじめに　日本サイクリングの歴史を踏まえて

第１次　自転車ブーム　１９５０年代　新しい動き

■日本サイクリング協会発足　１９５４年（昭和２９年）　サイクリングクラブの急増
■小坂一也「青春サイクリング」（歌謡曲）　宝田明「大学の侍たち」（映画）
■１９５８年　サイクリングブーム下火に！！　“スバル３６０”（１９５８年）登場
マイカー時代
■高値の花　高値なスポーツ車　間違った先入観　自転車旅行（貧乏旅行）
■所詮、子どもの遊び

第２次　自転車ブーム　１９６０年　実用車から軽快車・スポーツ車

■当時流行　集団サイクリングとサイクリング論（サイクリングの本質＝本当のサイクリグ）
■「スポーツ振興法」（１９６１年）　自転車旅行（野外活動の位置づけ）　行政の過護！？
■自転車散歩、日帰りか１泊　長距離が無い

第３次　自転車ブーム　１９７０年　大人のサイクリングへの脱皮

■サイクリングブームの盛期　サイクリングの多様化　ツーリングからレースまで
■趣味的サイクリング、学生が中心

線香花火？

ー大人のサイクリングへ脱皮するためにー

1．サイクリングが幅広い年齢層で楽しまれること。

2．女性サイクリストが増えること。

3．より大規模なツーリングが増えること。

第4次　自転車ブーム到来

2000年代　線香花火か本物か！？

■2000年　忌野清志郎　自転車にはまる　2001年「オレンジ号」特注

■「しまなみ海道」開通（２００６年）自歩道が完備

■「弱虫ペタル」（２００８年）週刊チャンピオン　渡辺航作
単行本４８巻累計１６００万部

■「にっぽん縦断　こころ旅」（２０１１年）NHK　火野正平放送開始

観光立国　交流人口戦略　観光振興　地方創生

自転車活用推進法（2016年12月）

2. 浜名湖サイクルツーリズムの取り組み

日本風景街道**「浜名湖サイクルロード」**

浜名湖観光圏

制度の連携

日本風景街道「浜名湖サイクルロード」
浜名湖観光圏

事業の連携

浜名湖サイクルツーリズム

組織の連携

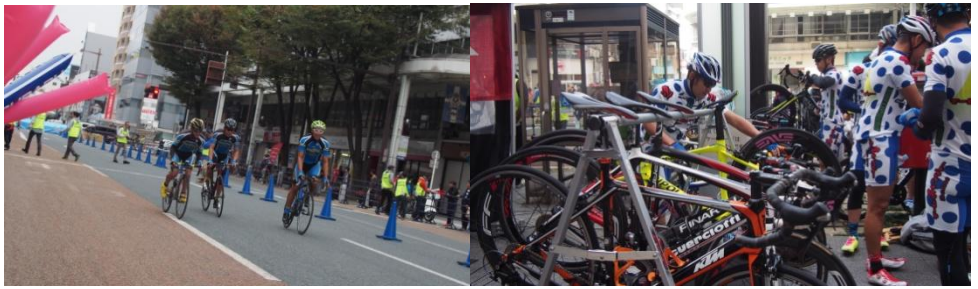
日本風景街道「浜名湖サイクルロード」パートナーシップ
浜名湖観光圏「浜名湖サイクルツーリズム推進会議」

事業の方針

「三現主義」 現場へ行く 現場を知る 現実的に

3．課題-1「規模と形態」地域振興・観光振興から見るサイクルツーリズム

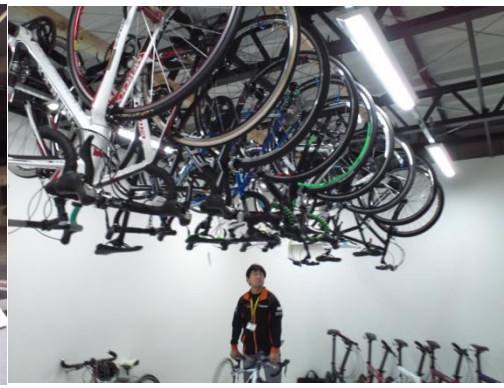
浜名湖「利用者数の実態」　増えてきたのは、確かだが！？



まちなか　team pursuit　2017　**（2016･10･30）**

第1回Birdy Meeting　**浜名湖　（2016･9）**

浜名湖サイクルツーリング2017参加約2,000人



レンタサイクル　はままつペダル（2017･1･21）

3-2　日本風景街道の連携

（案）

ニッポン　湖畔巡り　自転車旅

趣らい

日本人の旅の原点は“巡り”です。日本人が好んで半島巡り、島めぐり、１００名山、そして四国遍路、神社仏
湖沼、庭園を巡るのも「巡り旅」が日本人の旅文化の一つになっているからです。
サイクルツーリズム、自転車旅が注目されているいま、湖畔を自転車で巡るサイクリストが増えています（ビワ
、ハマイチ）。
湖畔には豊かな自然と人々の暮らしがあり、自転車旅に適した道が巡っています。起終点が同じという便利さも
、湖畔巡るサイクリストには格別の達成感が得られるはずです。
そこで、日本風景街道登録ルートが連携して「ニッポン　湖畔めぐり　自転車旅」をコンセプトに掲げて、内外
ピールしサイクリストの誘客を促進します。

事業概要

1.「ニッポン　湖畔めぐり　自転車旅３０選」（仮称）の選定

［スタート段階］
浜名湖（静岡県浜松市）　約８０キロ
琵琶湖（滋賀県彦根市）　約２００キロ
（１）　直虎　連携の一環　浜松市・彦根市
（２）　日月潭（台湾）
（３）　風景街道による連携
①日本風景街道　浜名湖サイクルロード（浜松市・湖西市）
②「琵琶湖さざなみ街道・中山道」（琵琶湖を望む「さざなみ街道」と「中山道」２ルート）
［第２段階］
富士五湖（山梨県）「ぐるり富士山風景街道」（山梨県）　約７０キロ　山中湖・河口湖・西湖・精進湖・本栖
［第３段階］
支笏湖・（北海道）　シーニックバイウエイ　支笏洞爺ニセコルート　約４０キロ
洞爺湖（北海道）　シーニックバイウエイ　支笏洞爺ニセコルート　約４０キロ
宍道湖（島根県）　日本風景街道　ご縁をつなぐ神仏の通り路　約５０キロ
［最終段階］
順次、３０湖へ拡大

2. 日本風景街道「湖畔巡り自転車旅ネットワーク」（仮称）に参加

①日本風景街道の登録ルートで、各湖に接し、趣旨に賛同した市町村及び関係諸団体で日本風景街道「湖畔巡り
自転車旅ネットワーク」（仮称）参加、連携して「日本風景街道　湖畔めぐり　自転車旅」のPR、マーケティ
グを行う。
②趣旨に賛同して参加する市町村を起終点としたコースを設定、完走証を発行する。
※各湖で複数の市町村が参加する場合、複数の起終点を設ける。

3. 主管する組織とネットワーク協力組織

主管：「日本風景街道　湖畔巡り自転車旅ネットワーク」（仮称）
協力：NPO 法人日本風景街道コミュニティ自転車部会

4. 事業費

①マップ、ガイドブックの作成と販売　収益
②「ニッポン　湖畔めぐり　自転車旅」パスポート（仮称）の販売　※完走証として使用する。

ふじのくに　Cycle Tourism Plan

ふじのくに（静岡県）三つの自転車周遊コース

浜名湖一周　＝ハマイチ　初級　約 60km　海岸沿い 100 キロ以上
富士山一周　＝フジイチ　中級　約 120km　注）山梨県を含む
伊豆半島一周＝イズイチ　上級　約 200km

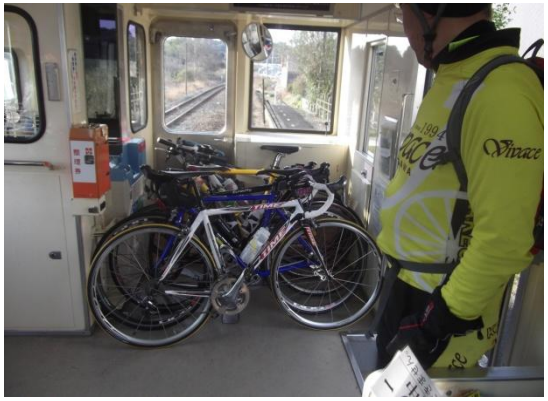
1．巡る（周遊）は、日本と日本人の「旅の原点」（巡り終えた後の大きな達成観）です。ふじのく(静岡県)には、その最適地（最適ルート）が三つあります。すでに多くのサイクリストが訪れていますが、もっと内外のサイクリストにアピールして、自転車に乗って日本、ふじのくに（静岡県）を知り、楽しんでもらう提案です。

2．このプランは、単にサイクルスポーツのイベント開催を目的とするものではありません。自転車は、車よりも沿道の魅力を身近に体感し、ウォーキングより遠くまで移動できます。いつでも、誰でも力量に応じて楽しめるコースとして、（もちろん、地元のサイクリストが真っ先に楽しみながら）内外から多くのサイクリストをお招きすることを主眼にしています。併せて、地域に様々な好循環を産むことも狙いのひとつです。

3．この三つのコースは、日本風景街道に登録されています。
・「浜名湖サイクルロード」
・「ぐるり富士山風景街道」（静岡県・山梨県）
・「なごみの伊豆　なごみの道風景街道」（伊豆半島全域）
日本風景街道は、風景、歴史、文化等の地域資源を活かす「原風景創成運動」であり、地域活性化、観光振興への寄与を目的にしています。
サイクリストに地域の魅力を体感してもらい、地域活性化や観光振興に好循環を産むためには、日本風景街道の仕組みを活かすことが有効です。

■提案主体（案）
・ＮＰＯ日本風景街道コミュニティ
みちのコミュニティ・シンクタンク
・ＮＰＯ地域づくりサポートネット
ふじのくに日本風景街道支援センター
・コンセプト株式会社

6-2　浜名湖の自転車と道路・鉄道・舟運



4．課題-２　「環境」　浜名湖サイクルツーリズム環境の整備

１．情報発信・提供・サイクルイベント

①ルート調査と設定
②ＨＡＭＡＮＡＫＯ　ＣＹＣＬＥ　浜名湖一周サイクルMAP
③浜名湖一周サイクリングWEB　http://www.hamanako-ct.jp
④サイクリング・ガイド・システムづくり
④ロゴマーク作成、サイン整備計画策定
⑤浜名湖サイクルツーリング　他イベント

２．受け入れ体制整備・サイクルロード整備

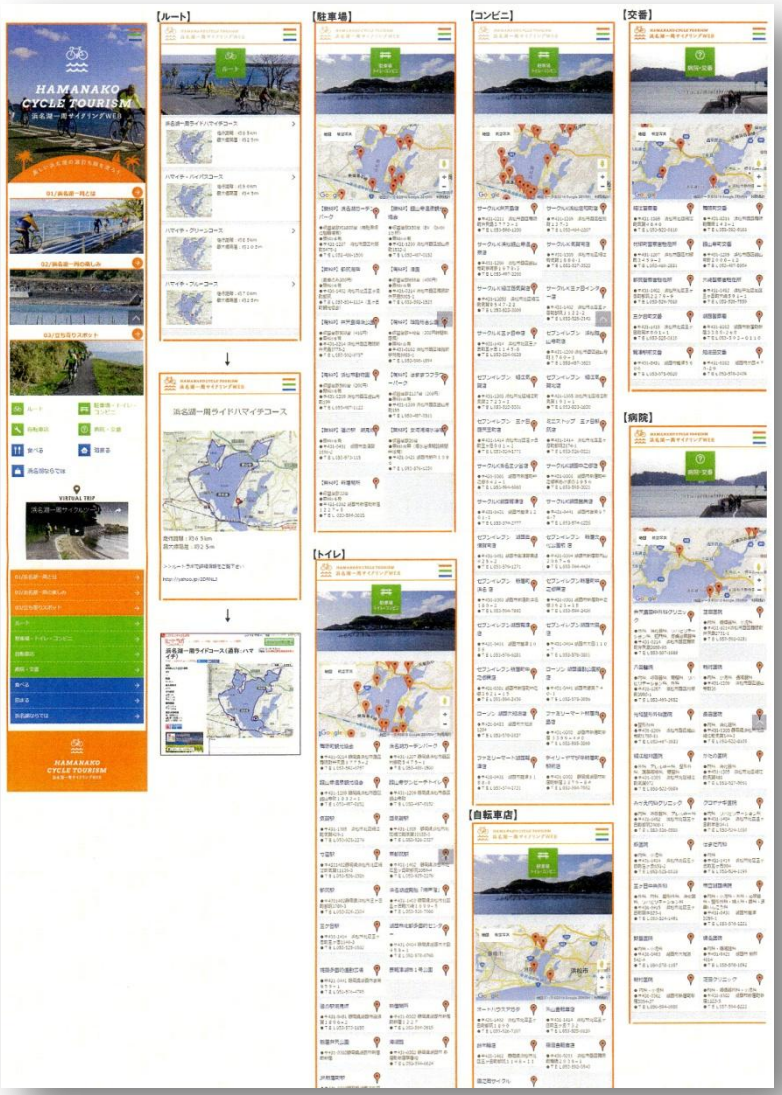
①多彩なアクセスで繋ぐ手段　舟運　天竜浜名湖鉄道等
②サイクリストの宿（募集・認定）　サイクリストwelcomeの宿
③Bicycle Pitt（バイシクル・ピット）（募集・認定）
④サイクルロード整備関連
⑤日本風景街道連携・国内外連携

３．社会実験（国土交通省、平成27年度）　浜名湖を実験のメッカに！！

浜名湖サイクリングロードの管理と活用に関する社会実験（国土交通省、平成27年度）と具体化

5．情報発信・提供・サイクルイベント

浜名湖一周
サイクリングマップ



浜名湖一周サイクリングWEB

情報提供

- 走る
- 休む
- 直す
- 困る
- 食べる
- 泊まる
- 買う

受入れ体制

6．受け入れ体制整備・サイクルロード整備

「Bicycle Pit」
認定証とサイクルマップ。手作りのラック

「Cyclist　welcomeの宿」
独自にレンタサイクルを始めたホテルも

7. 浜名湖地域におけるサイン整備計画(平成28年度)

サインシステムの検討

サインデザインベーシックイメージ

ルート上サイン

サイン名称

A2　ルート誘導（位置案内付き）

設置の目的

ルート上の大きな分岐点（特に専用道と共用道が交差するような場所）でポイントへの方向と現在位置を確認する。

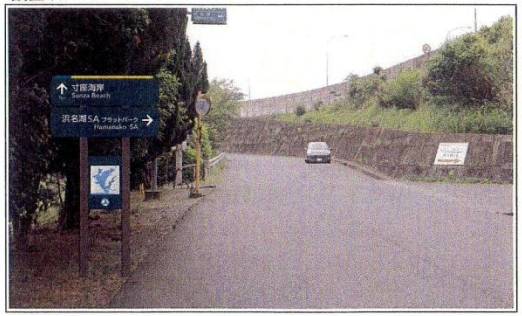
設置場所・設置間隔等の方針

ルート上で、通行の邪魔にならない路側。現在位置を確認する場合には、自転車を止めて見るためのスペースが必要。専用道と共用道が交差するような場所や、間違いやすい共用道に設置。
交通量の多い場所では、マップ無しとする。

表示内容

1 ポイント名称
2 距離または所要時間
3 現在位置がわかる簡略マップ
4
5

設置イメージ



検討事項

ポイントの選定。
ポイントまでの距離か所要時間かを検討。
高い位置は 20m～30m 位の距離からの視認を前提とするので、見通しが良い場所の設置が前提。

用語　**ルート**：サイクリングルート　**ポイント**：ルート上にある目的地点や施設　**専用道**：自転車道（歩行者兼用部あり）　**共用道**：一般的な車道（自動車と自転車両方が使用）

2016.08

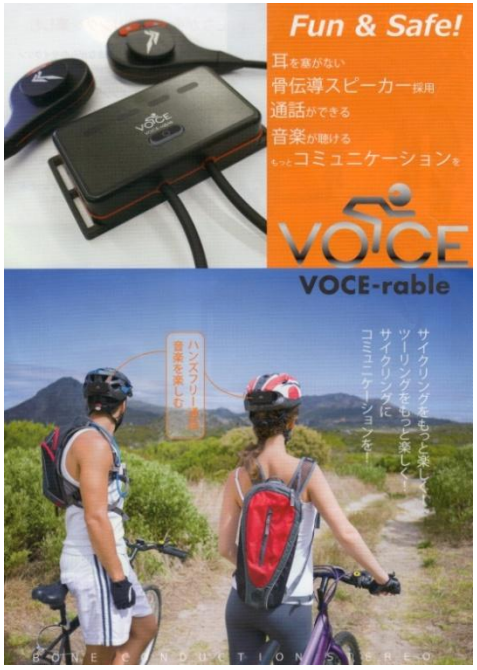
7．浜名湖サイクルロード社会実験

8. 「走る」ための環境整備

推進会議と作業部会

道路管理者（国、県、市、中日本高速）、観光（国、県、市、観光コンベンションビューロー、観光協会）、マスコミ、企業、サイクル諸団体、NPO等

「矢羽」の大きさ　道路で検証



「骨伝導」のガイドシステムの実験

道路管理者、サイクリストが一緒に走って調査

9．路肩・路側帯への気配りと思いやり！！

思いやり『1･5メートル』運動を！！

グレーチングは自転車の大敵！！

走りやすくなった国道301号（湖西市）

舗装の段差

グレーチング

走って実感する路面の状態

9．観光6次産業　合わせ技の浜名湖サイクルツーリズム！！

日本最古の自転車店
本田宗一郎と隣り合わせ

浜名湖サイクル
ツーリズムと
“ものづくり”

浜名湖には
ミニベロ
（小径車）
が似う！？

本田宗一郎ものづくり伝承館と
原動機付き自転車

ヤマハの電動アシスト・クロスバイク
ヨーロッパで流行！！

浜名湖モデルの自転車づくり